

令和7年12月5日

船橋市長 松戸 徹 様

船橋市歯科診療所運営委員会
委員長 松島潔

令和6年度事業報告書に基づく管理の実績についての評価（報告）

船橋市歯科診療所運営委員会設置要綱第2条第3号の規定により、令和6年度事業報告書に基づき、中期目標達成期間における当事業年度の管理の実績について評価を行った。

中期目標に係る達成状況の評価については別紙のとおりである。

令和6年度 船橋市歯科診療所 中期目標達成状況評価

1. 利用者及びその家族に対して提供するサービスに関する事項

目標1 口腔ケアの充実

評価:S(令和5年度評価:S)

両歯科診療所において、評価対象者174名中、口腔内の状態が「可」と評価された者が160名、実績値は92.0%で、目標値(70%以上)を22.0ポイント上回り、目標値を大きく達成する結果となった。

患者に対しては、それぞれの特性を考慮したブラッシング指導や模型・絵コンテなどを利用した分かりやすい説明をすることで、また介助者(支援者)に対しては口腔ケアの実践的な説明を行うことで、患者と家族双方が口腔ケアの重要性を認識し、口腔衛生に対する意識が改善され、今回の結果につながったものといえる。

今後も、さらなる口腔ケアの充実に取り組んでいただきたい。

目標2. 摂食嚥下機能訓練による口から食べる機能の維持

評価:S(令和5年度評価:S)

両歯科診療所において、評価対象者50名中、経口摂取できる状態を維持できた者が50名、実績値は100%で、目標値(70%以上)を30ポイント上回り、目標値を大きく達成する結果となった。

かざぐるま歯科診療所においては、嚥下食の患者が10名中2名、普通食になる改善がみられた。

今後も引き続き、家族や多職種と連携し、患者が経口摂取可能な状態を維持できるような取り組みを期待したい。

目標3. 固定診療の患者満足度

評価:S(令和5年度評価:S)

両歯科診療所において、実績値99.3%で、目標値(80%以上)を19.3ポイント上回り、目標値を大きく達成する結果となった。アンケート内容を確認し、患者の意見をしっかりと吸い上げていただきたい。

アンケートでは、優しく丁寧に診ていただいている、スタッフの対応がよい、説明がわかりやすく親切、などといった声が寄せられていた。

また、アンケート回収箱を使ってアンケートの回収を行うことで、率直な意見を出しやすい状況を確保していた。

目標4. 訪問診療の患者満足度

評価:S(令和5年度評価:S)

両歯科診療所において、実績値96.8%と目標値(80%以上)を16.8ポイント上回り、目標値を大きく達成する結果となった。高い満足度の維持ができるよう取り組んでいただきたい。

訪問診療については、高齢化に伴い今後も需要が増えることが予想されるので、しっかりと準備をしていただければと思う。

2. 財務内容の改善に関する事項

目標5 かざぐるま休日急患・特殊歯科診療所 指定管理料の執行率

評価:S(令和5年度評価:S)

指定管理料の予算額38,676,000円に対して、決算額が28,542,610円となり、実績値73.8%で、目標値(100%以下)から26ポイント以上削減し、目標値を大きく達成する結果となった。

歯科材料や薬品類の管理を徹底し、経費の削減に努めていたほか、地域への周知など患者の増加へ向けた取り組みも行われていた。

目標6 さざんか特殊歯科診療所 指定管理料の執行率

評価:S(令和5年度評価:S)

指定管理料の予算額59,807,000円に対して、決算額が50,567,462円となり、実績値84.6%で、目標値(100%以下)を15ポイント以上削減し、目標値を大きく達成する結果となった。

次年度以降も、材料の見直し等による経費の削減に努め、引き続き安定した診療所運営を行っていただきたい。

3. その他管理に関する重要事項

目標7 従事者に対し医療安全研修や技術向上を目的とした研修を実施する。

評価:S(令和5年度評価:S)

医療安全研修を4回、救急蘇生実習を含む講習会を1回、それぞれ集合形式とWeb形式を併用したハイブリットな形で開催し、歯科診療及び関連する知識の向上に努めていた。また、上記のほか、学術講演会や連絡協議会を実施し、さらなる医療サービスの向上および診療所内でのスタッフ間の連携や情報共有等に努めていた。

今後も同様の研修を継続的に行い、安心安全な医療の提供に努めていただきたい。